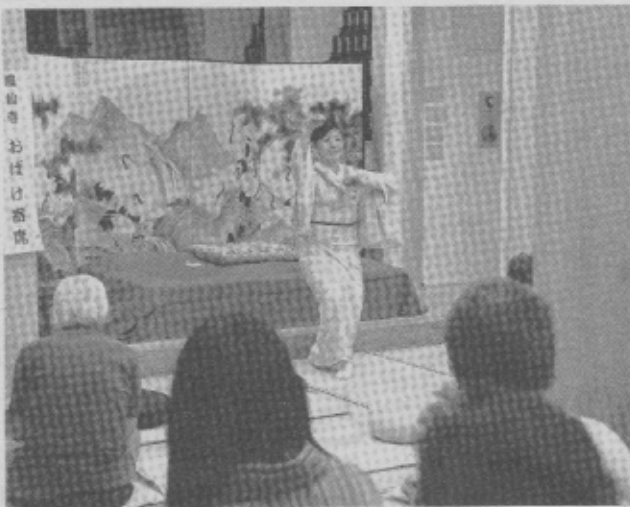


怖い話に一服の涼

おばけ寄席、50人が堪能



鳳仙寺 おばけ寄席

熱拵夜を山寺で、怖い 4日に開かれた。桐生市話を聞いて涼もうと、第 梅田町二丁目の鳳仙寺本7回鳳仙寺おばけ寄席が 堂を舞台にした寄席だ

暑い夏におばけ寄席

桐生市梅田町の鳳仙寺で

第7回鳳仙寺おばけ寄席 今回は落語家の春風亭席が4日、桐生市梅田町 鹿の子さん、瀧川鯉昇さんと一丁目の鳳仙寺本堂で開 演、講談師の神田愛山さんが出演。暑い夜に涼や

問い合わせはおばけ

かな風を吹かせる。

午後5時開場、同5時半開演。木戸銭は300

0円(前売り2500

円)。藤江医院、鳳仙寺、

よろづ圓などで取り扱っ

ている。前売り券は電話

予約もOK。

寄席踊り「かっぱれ」も披露した春風亭鹿の子さん(鳳仙寺常磐殿で)

現代っ子らしく演じて笑わせた。また踊り「かっぱれ」も披露してくれ

れる。その際に船べりにしがみついて切られた四本指が、現れてはたたるという怪談だ。終演後、

が、今回はあまりの暑さに会場を昨春落成した常磐殿に移し、冷房が利いた中で約50人が話芸を堪能した。

次いで瀧川鯉昇師匠がたっふりと枕を述べ、「船徳」。若だんなの

とっふりと暮れてなまあたたかい戸外、客たちは「四本指に追いかけられないように」といいながら、墓地のそばの駐車場に急いでいた。

出演はまず春風亭鹿の子さん。希少な女性落語家、しかも今春に真打ち昇進。「皿屋敷」のお菊さん、「いい女」だと評判を呼んで見物が増え、

出演はまず春風亭鹿の子さん。希少な女性落語家、しかも今春に真打ち昇進。「皿屋敷」のお菊さん、「いい女」だと評判を呼んで見物が増え、

相手によって沼に沈めら